◀温度管理などについて詳しく説明する職員

白神トピックス

健苗作りに向け巡回で管理指導

営農企画課

ＪＡでは水稲育苗の生育状況の確認や農家からの相談に応えるため、４月24日から５月１日までの５日間に渡って、管内３地区で苗代巡回を行いました。

ＪＡの営農指導員が、生産者と共に育苗ハウスを巡回して、床土や苗の状態、温度管理等について細かく確認を行いました。巡回した営農指導員からは「種まき後の低温の影響で成長が少し遅れているものの、順調に生育している。今後は日照時間が多くなり、ハウス内の温度が急に上がる危険性が出てくる。苗焼けや徒長苗、病害等を防ぐためにも温度管理に気を配ってもらいたい。また、かん水は早朝を基本とし、たっぷり水を与え、回数はできるだけ少なくするように」と注意を呼び掛けていました。また、苗を見てもらった生産者からは「苗の出来で作柄に大きく影響するので、この時期に営農指導員の方に見てもらうと安心できる。管理方法についてわからない点も営農指導員から適切なアドバイスをもらえるので大変助かっています」と話してくれました。

農業を守り、地域活性化を図る

ＪＡ稲作部会

ＪＡあきた白神稲作部会（堀内直富久部会長）は４月10日に総会を開催し、部会員約20名の参加のもと、平成26年度事業報告や27年度計画について協議を行いました。

佐藤組合長は「厳しい農業情勢で先の見えない状況ではあるが、今後も水稲プラス野菜の複合経営を進め水田農業を発展させ所得向上を目指してもらいたい。地産地消の重要性や地域の活性化を稲作部会の方々に担ってもらいたい」と挨拶しました。今年度の計画では、健苗コンクールの実施や技術講習会、視察研修等を通じて管内水稲栽培の技術向上を図り、高品質・良食味米の生産を目指すことを誓い合いました。

▲27年度の活動について協議する部会員

▲部会内で意識の統一が図られた

面積拡大、収穫量増加を目指す

JA山うど部会

ＪＡあきた白神山うど部会（桜田和浩部会長）は４月13日に通常総会を開催し、部会員約25名の参加のもと、平成26年事業報告や27年度計画、役員改選等について協議を行いました。

桜田部会長は「ＪＡと部会員が一緒になって様々な研究に取り組み、天候に左右されない栽培技術を確立したい。また、『白神山うど』は量販店等でも好評を得ているので、販売にもさらに力を入れていきたい。」と挨拶しました。

その後の役員改選では桜田和浩部会長が再任され、視察研修や株品評会、目揃会等の開催により『白神山うど』の更なるブランド力向上に努めることを誓い合いました。